

## ヒアリングに対する運用診断結果(例)

運用全般についてヒアリングを実施した結果、貴情報部門での現状抱える問題点並びに運用診断状況を以下にまとめます。

又、各問題点に対する個別の実施課題も合わせて整理しましたのでご確認頂くと共に、今後の運用改善での参考にして頂ければ幸いです。

尚、今回のヒアリング結果での重要度／効果度を考慮しての急務実施課題、及び将来を考慮しての長期的課題としては、次項の[運用改善に向けての実施課題の提案]で述べます。

### 1. 運用診断状況

ここではヒアリングした結果が運用機能別に大別され、問題指標レベルで現されています。

- ※運用機能: 入力機能……………データの受付、確認作業等
  - 処理前の準備機能……スケジュール、JCL修正、媒体準備等
  - 処理機能……………処理の特徴、制度、オペレータ作業等
  - 出力／後作業機能……帳票出力、仕分け～配布作業等
  - その他機能……………問い合わせ、移行／受け入れ、標準化、運用管理等

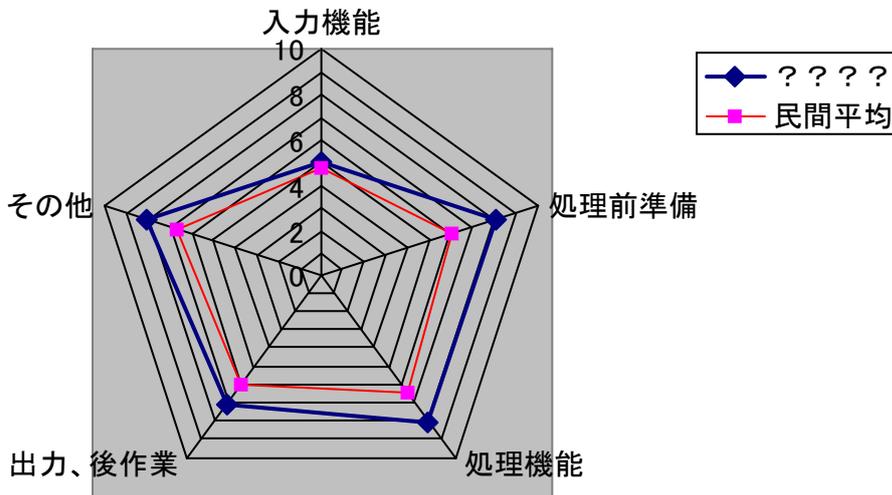
#### ※問題指標レベル

そこでの運用状況が、コンピュータ運用に対してどれだけ信頼性や作業への負荷、管理面等にどれだけ影響を与えるかを客観的に数値化したもの

○各機能別の問題点ポイント＝0～3: 問題なし／3～7: やや問題あり／7～10: 重要な問題あり

( )内は問題点のウエイトポイント

機能 切り口	入力機能	処理前の 準備機能	処理機能	出力、後作 業機能	その他の 機能	合計
運用管理面(人)	2(5)	4(5)	4(5)	4(5)	5(6)	19(25)
業務アプリ、ソフト	3(4)	4(4)	4(4)	2(3)	3(3)	15(18)
機器・設備面	0(1)	0(1)	0(1)	1(2)	0(1)	2(7)
<b>問題指標ポイント</b>	<b>5</b>	<b>8</b>	<b>8</b>	<b>7</b>	<b>8</b>	<b>36</b>
主要民間平均	4.7	6.0	6.4	6.0	6.7	29.8



【サンプル資料】

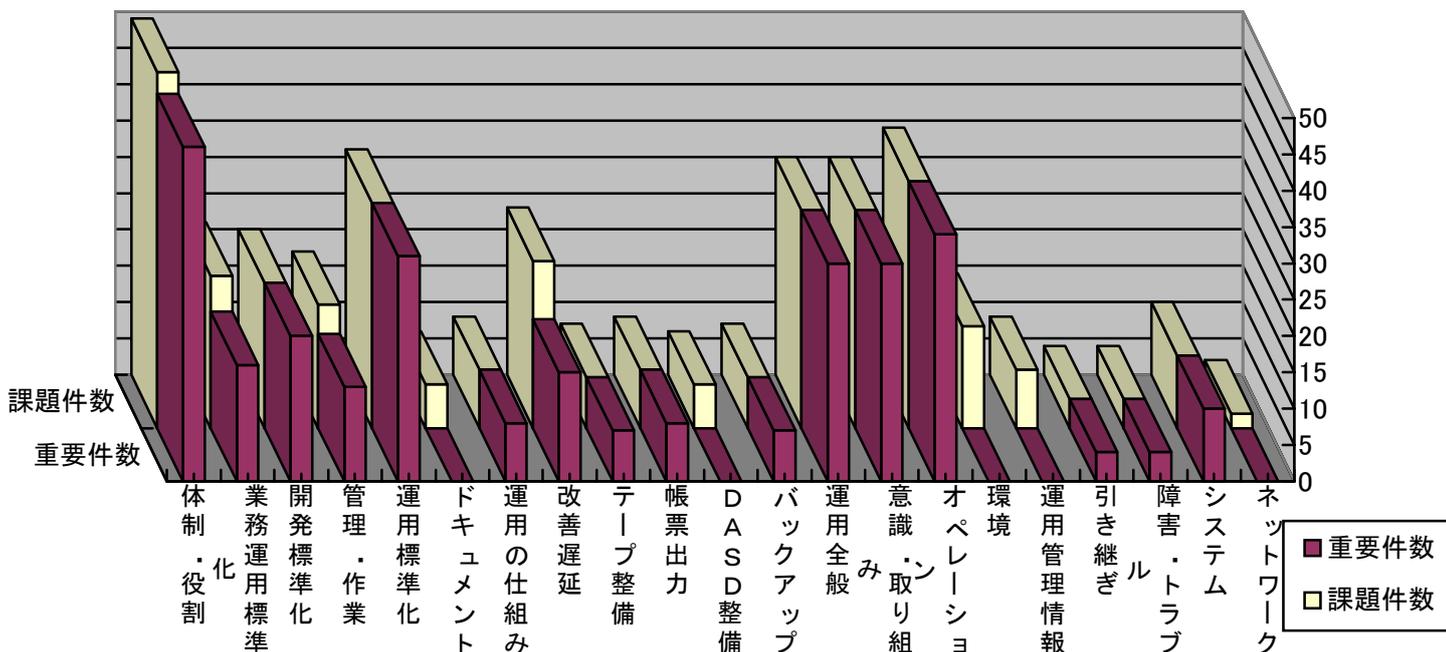
2. 問題点の傾向

運用機能別で問題点を押し上げている問題点としては以下の傾向となっています。

※各問題点に対する課題種類／件数により傾向がつかめます。

分：問題点分類、件：問題点に対する課題件数、重：重要課題件数

問題点	体制・役割	業務運用標準化	開発標準化	管理・作業	運用標準化	ドキュメント	運用の仕組み	改善遅延	テープ整備	帳票出力	DASD整備	バックアップ	運用全般	意識・取り組み	オペレーション	環境	運用管理情報	引き継ぎ	障害・トラブル	業務システム	ネットワーク	合計
分	02	06	11	14	15	24	05	08	12	18	19	21	22	23	25	03	07	10	16	17	20	
件	49	21	20	17	31	6	8	23	7	8	6	7	30	30	34	14	8	4	4	10	2	339件
重	46	16	20	13	31	0	8	15	7	8	0	7	30	30	34	0	0	4	4	10	0	283件
	標準化関連課題 144件					効率化関連課題 153件								その他 42件							339件	
率	42.5%					45.1%								12.4%							100%	
	297件 87.6%															12.4%					100%	



問題点の傾向としては、1項の運用診断(機能別評価)で指摘した標準化、あるいは効率化に向けての改善遅延が更に明確に現されています。

又ほとんどの課題の中で、重要度の高い課題がほとんど残されている点及び主要民間企業の抱える問題点の約3倍に達する点については、ほぼ末期症状に近い状況といっても過言ではありません。改善には相当な覚悟をもって実施する必要があります。